

した。また、職員の給料および諸手当などの経費を削減し、一般会計で二十七億円、全会計で三十六億円の減額補正を実施しました。

一方、歳入面では、市税の確保に努め、二十六億円の増額を見込むことができたことなどから、予算で予定していた財政調整基金の取り崩しをすることなく、今後に備えることができる見込みです。

特別会計では、国民健康保険会計、老人医療会計、介護保険会計、公共用地先行取得会計および砂防用地先行取得会計で収支不足が生じ、十五年度の歳入を繰り上げて十四年度の歳入に充てる「繰上充用」を行いました。

＊「財政調整基金」とは、年度間の財源の不均衡を調整するための基金です

企業会計

□病院事業

累積欠損金が増え続けるなど厳しい経営状況にある病院事業では、業務の効率化を推進し、経営の健全化に努めました。また、予約診療を実施するなど、医療環境の整備と診療内容の充実に努めました。

□中央卸売市場事業

平成十三年度に着工した新水産棟新築一期工事がしゅん工し、十五年一月から供用を開始するなど、中央卸売市場の全面建て替えに向けた再整備事業を着実に進めました。

□交通事業（電車・バス）、高速電車事業（地下鉄）

輸送人員の減少傾向が続き、依然として厳しい経営状況にあることから、内部効率化の実施など経営の健全化に努めました。また、施設の安全対策として、地下鉄の南北線さっぽろ駅・大通駅・すすきの駅の三駅に非常列車警報装置を整備したほか、老朽化の著しい地下鉄駅施設の改良や電車の軌道改良を行いました。

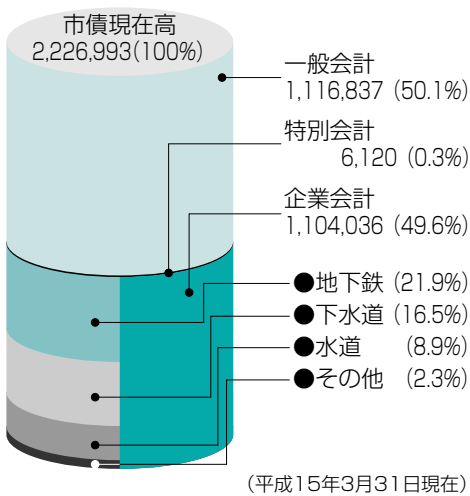
□水道事業

都市の生活基盤の一つとして、安全で安定した給水を継続していくため、藻岩浄水場の改修を終えるとともに、清田配水池の増設、緊急貯水槽の新設に取り組みました。

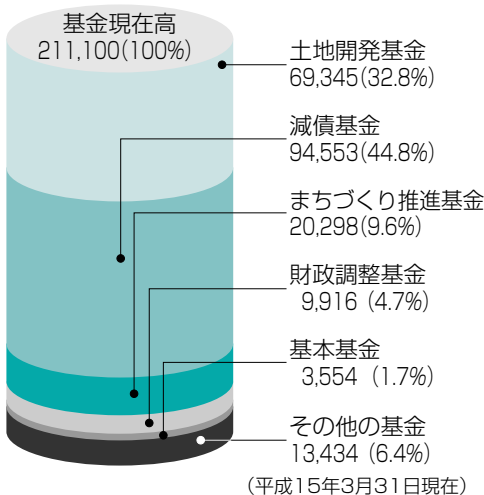
□下水道事業

老朽施設の改築更新や浸水対策、市民要望の高い雪対策事業として八軒下水道管投雪施設の整備のほか、昨年度に引き続き、東部処理場の新設や手稲処理場の増設などの工事を進めました。

市債現在高の状況(単位：百万円)



基金現在高の状況(単位：百万円)



企業会計(単位：百万円)

区	分	収 益 的		資 本 的	
		収 入	支 出	収 入	支 出
病院事業会計	予算現額	21,783	23,281	1,881	2,298
	執行済額	20,758	22,048	1,880	2,295
	執行率(%)	95.3	94.7	99.9	99.9
中央卸売市場事業会計	予算現額	2,089	2,127	5,997	6,859
	執行済額	2,017	2,286	5,265	5,849
	執行率(%)	96.6	107.5	87.8	85.3
交通事業会計(電車・バス)	予算現額	7,029	11,605	142	562
	執行済額	6,842	10,797	2	526
	執行率(%)	97.3	93.0	1.4	93.6
高速電車事業会計(地下鉄)	予算現額	44,849	62,241	28,412	40,762
	執行済額	44,112	59,293	24,605	37,744
	執行率(%)	98.4	95.3	86.6	92.6
水道事業会計	予算現額	46,194	45,372	9,965	24,382
	執行済額	45,677	44,225	10,203	24,001
	執行率(%)	98.9	97.5	102.4	98.4
下水道事業会計	予算現額	48,096	49,570	29,994	45,203
	執行済額	47,281	47,936	29,771	44,574
	執行率(%)	98.3	96.7	99.3	98.6

※収益的収支：企業の経営活動に伴い発生する収入と支出

収入＝料金収入など

支出＝営業費用、企業債償還費(利子)など

資本的収支：企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良などに係る収入と支出

収入＝企業債など

支出＝建設改良費、企業債償還費(元金)など

一時借入金現在高の状況(単位：百万円)

一般会計	0
特別会計	724
企業会計	1,910
合計	2,634

※一時借入金：年度の途中で、収入と支出の時期のずれから一時的な資金不足が見込まれる時に、その不足を補うために銀行などから借り入れる資金

(平成15年3月31日現在)